

平成28年度における退職報償金の支払状況

(退職報償課)

平成28年度における退職報償金の支払人数・支払額等について、その概要を以下に紹介します。

1 支払状況

平成28年度の支払人数は44,592人、支払額は17,526,479千円となっています。前年度に比べると、支払人数で686人減(1.52%減)、支払額で69,490千円減(0.40%減)と、いずれも減少して

います(図1)。

1人当たりの平均支払額については393千円となっており、前年度と比べると、4千円増加しています(図2)。最近に見られる増加傾向については、経験を積んだ熟年層団員の割合が増加し、勤務年数が長期化していること(図4にて後述)が要因として考えられます。

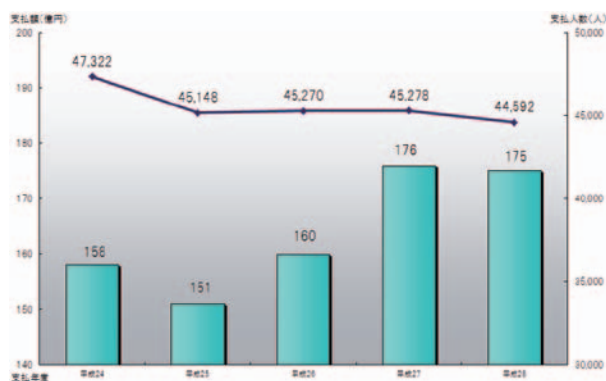


図1 支払人数と金額（最近5か年）

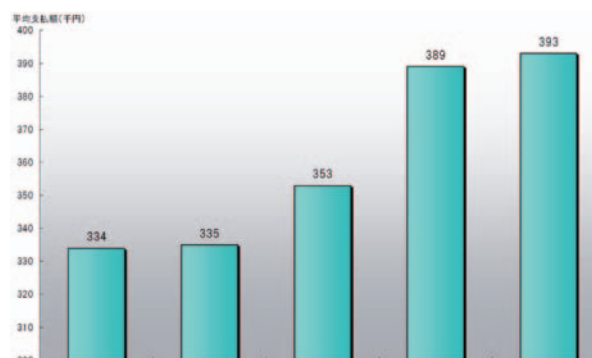


図2 平均支払額（最近5か年）

2 支払人数

支払人数について見ると、階級別では、「団員」の15,424人(34.6%)が最も多く、続いて「班長」の10,215人(22.9%)、「部長」の8,888人(19.9%)

の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の77.4%を占めています(図3)。階級別支払人数に変化はあまり見られません。

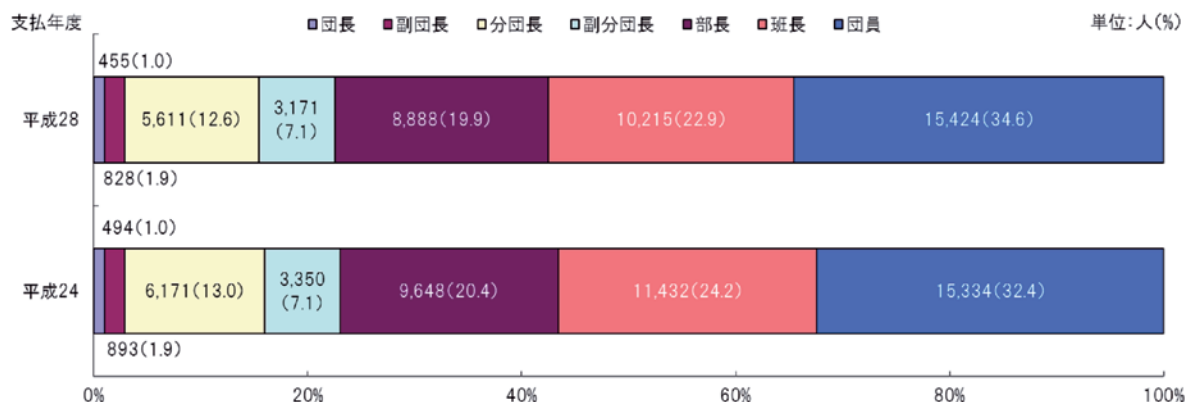


図3 階級別支払人数

勤務年数別では、「5年以上10年未満」の11,473人(25.7%)が最も多く、続いて「10年以上15年未満」の9,314人(20.9%)、「15年以上20年未満」の7,758人(17.4%)の順となっており、この3つの勤務年数区分を合わせると全体の

64.0%を占めています(図4)。平成24年度と比べると、20年未満が減少傾向であるのに対し、20年以上が増加傾向にあり、勤務年数の長期化が進んでいます。

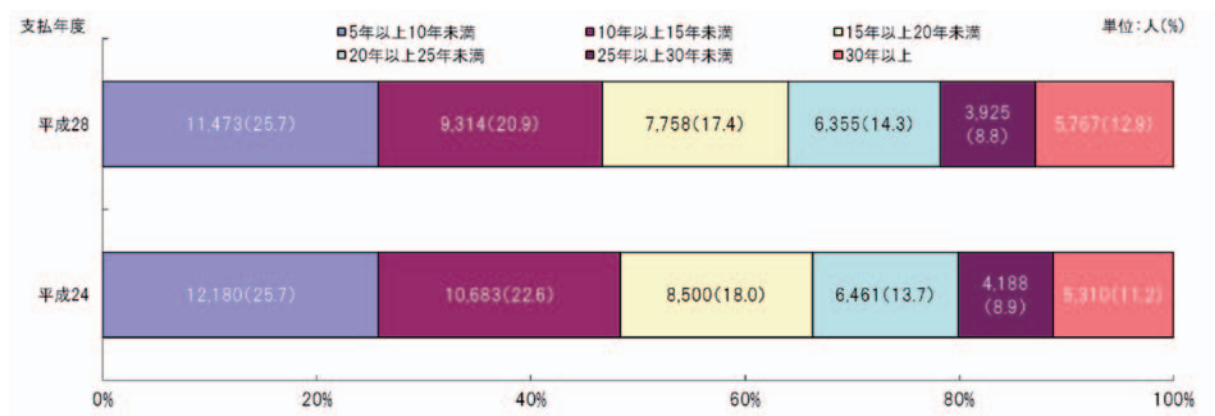


図4 勤務年数別支払人数

現年度・過年度別(※)では、「過年度退職者」の31,190人(69.9%)に対し、「現年度退職者」は13,402人(30.1%)となっています(図5)。平成

24年度と比べると、現年度(過年度)支払人数の割合は減少(増加)傾向を見せています。

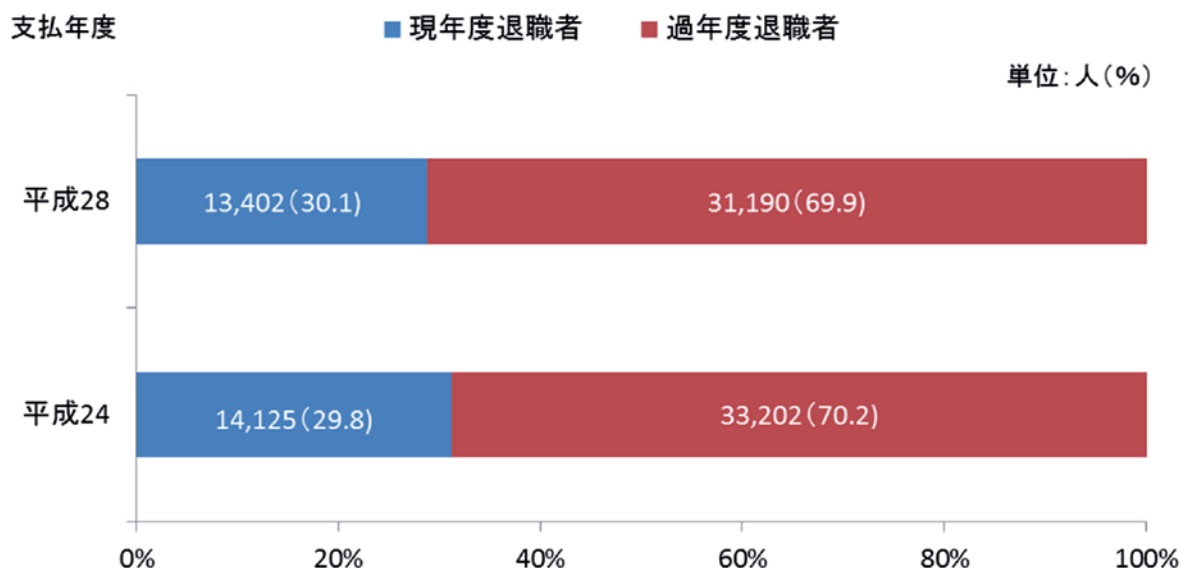


図5 現年度・過年度別支払人数(最近5か年)

3 支払額

支払額について見ると、階級別では、「団員」の4,239百万円(24.2%)が最も多く、続いて「班長」の3,756百万円(21.4%)、「部長」の3,743百万

円(21.4%)の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の67.0%を占めています(図6)。

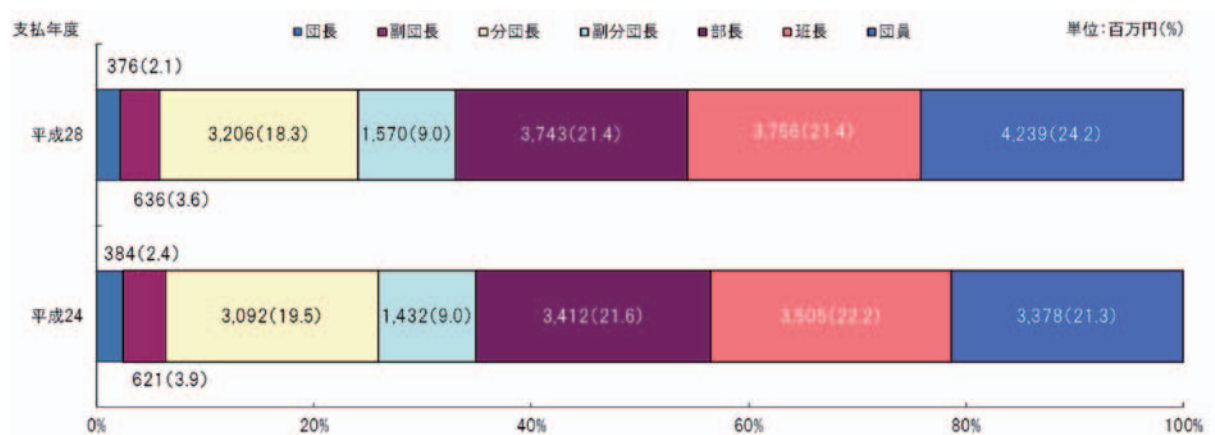


図6 階級別支払額

勤務年数別では、「30年以上」の4,621百万円(26.4%)が最も多く、続いて「20年以上25年未満」の2,863百万円(16.3%)、「15年以上20年未満」の2,803百万円(16.0%)の順となってお

り、この3つの勤務年数区分を合わせると全体の58.7%を占めています(図7)。平成24年度と比べると、30年以上の割合が増加傾向にあります。

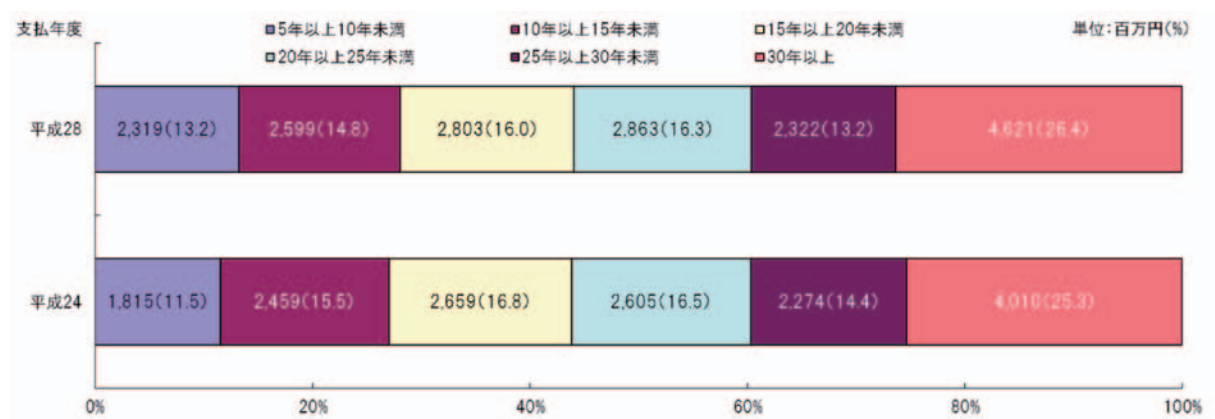


図7 勤務年数別支払額

現年度・過年度別では、「過年度退職者」の 5,284 百万円 (30.1%) となっています (図 8)。
12,242 百万円 (69.9%) に対し、「現年度退職者」

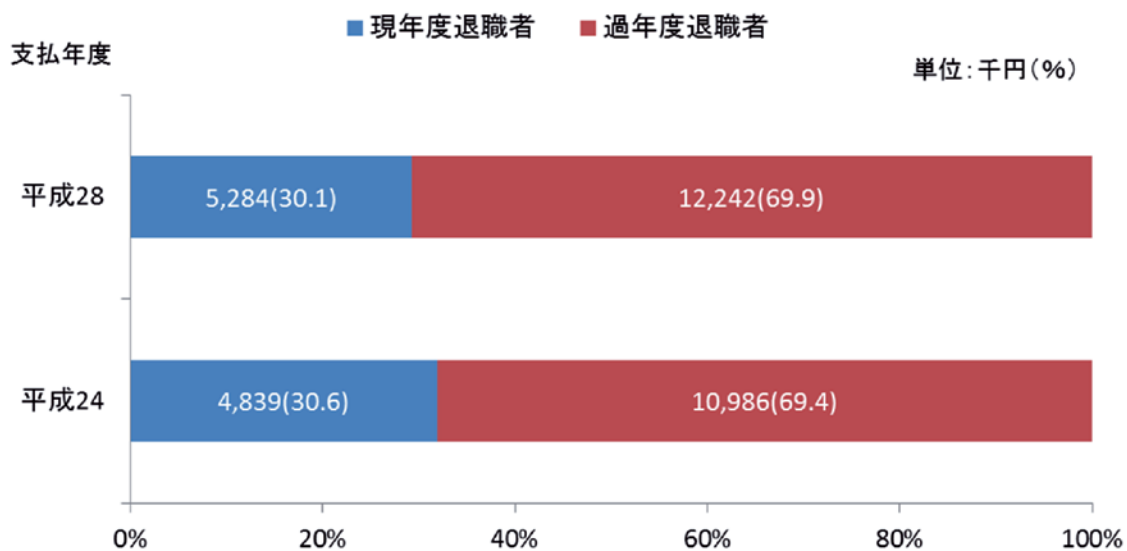


図 8 現年度・過年度別支払額 (最近 5 か年)

※ 一つの支払年度において、当該年度中に退職した者を現年度退職者といい、当該年度前に退職した者を過年度退職者といいます。